

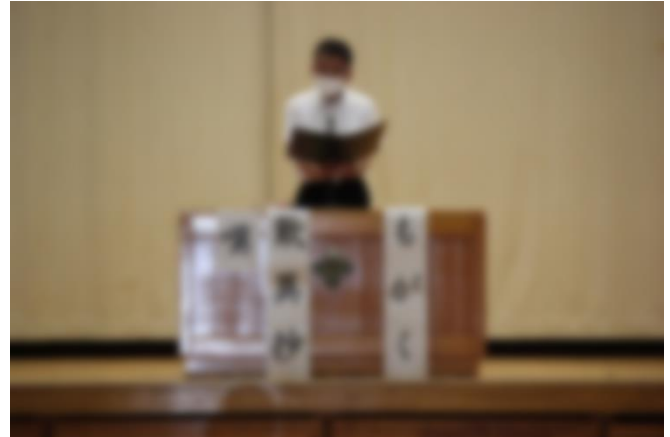


仰嶽の道

開田中学校だより
令和4年8月25日発行
文責:三枝 史明(教頭)

◇2 学期始業式、校長講話より 「もがく」の大切さ

全校の皆さん、先生方おはようございます。皆さんとこうして元気に2学期の始業式を迎えられることができてとても嬉しく思っています。土・日・祝日も合わせて30日間の夏休みはどうでしたか?コロナウイルス再拡大をうけて部活動やボランティアなど、様々な活動に制限を強いられた中でしたが、それでも長い休みでなければなかなかできない体験や、家族・親戚との団らん、お手伝い、そして勉強などを頑張り、ゆっくりとした時間を過ごし、楽しい夏休みになったことと思います。そんな充実した夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。気持ちの切り替えスイッチをONにして動き出しましょう。



今、代表2名の皆さんが2学期の決意を発表してくれました。千鶴さん 流央さんありがとうございました。自分が頑張りたいこと、課題の克服や行事などの目標を伝えてくれました。発表を聞きながら「自分も頑張ろう」と決意を新たにした人もいます。今日から始まる2学期は85日間です。校内では大きな行事、文化祭(白樺祭)があります。3年生は楽しみな修学旅行もありますね。木曾郡音楽会、部活動新人大会など対外的な行事も予定されています。ここでひとつ連絡があります。本年度の木曾郡中学生陸上競技大会(郡陸)はコロナウイルスの感染拡大の実情から中止が決まりました。74回目を迎える伝統のある大会であり、今年はその歴史に終止符をうち、一つの節目としようとして木曾郡内の多くの先生方が大切に考え、実現に向けて計画・準備をしていただいていた。皆さんの中にも出場種目の練習や、郡内の仲間と競い合う大会に意欲を高まらせていた人もいます。大変残念ですが、皆さんの安全を最優先に考えた最善の判断だと思っています。今年の行動制限のない夏休みの様子などを見ると、世の中のコロナへのとらえや考え方はこれから少しずつ変わってくるかもしれません。しかし、まだまだ油断することなく感染対策に努めていく必要があります。時には、郡陸のように、計画の変更をせざるを得ない状況も覚悟して受け入れなくてはならないこともあります。だからこそ、1日1日を楽しく充実させて、日々の時間を大切に、目標をしっかりとって学校生活を送っていくことが大事になってきます。

さて、休み中、みなさんは家庭学習に一生懸命に取り組んできたと思います。先生たちも同様に様々な勉強をしています。私も先生たちの研修を通して1冊の本と向き合いました。『歎異抄(たんにしょう)』という本です。学校の図書館にもあります。作家の司馬遼太郎は「無人島にたった一冊本を持って行けるとしたら歎異抄だ」といっています。非常に有名で、多くの人に読まれている『歎異抄』ですが、実は著者は「不明」です。おそらく、親鸞聖人の弟子の一人の唯円(ゆいねん)ではないかと言われてはいますが、確証はありません。聖人亡き後、教えと違うことを言いふらす者が次々と現れたため、それを正すために「異なることを歎く書(抄)」として書かれたのが『歎異抄』です。親鸞聖人を「歴史上の人物ベストワン」と評する人もいます。「文章も日本文としては実に名文だ。国宝と言っていい。この歎異抄の言葉そのものに出会うことができなかつたら、おそらく、日本人にとっては非常に大きな損失で『歎異抄』よりも求心的な書物は、おそらく世界にあるまい。」という人もいます。

ただ、私にはまだしっかり読み込めずにはいます。

『歎異抄』でもっと有名な一節に「善人なおもって往生をとぐ、いわんや悪人をや」があります。

直訳すると、「善人は極楽にいけるのですから悪人はなおざらいうまでもないでしょう。」となります。そもそも、これを、間違っているとらえて、悪いことをしても、悪いことをした方が極楽、天国へいけると考えた人が多く出てきてしまっ、歎異抄が生まれた発端にもなっています。

常識では、悪人よりも善人がいいのは当然ですし、もし悪人のほうが救われるなら、どんどん悪を造ったらいいということになってしまいます。

実はこのパラドックスこそが、親鸞聖人の教えの核心部分であり、そこに仏教そのものの深い教えがあり、悪人を「悪いことをする人」ではなく、私たちすべて「持って生まれた煩惱(欲やめたみ、ひがみなど)からくるもの」ととらえる内容からきているところなのです。そんな煩惱を持っている者は、念仏や信心を通して極楽に行けるでしょう…と。

ほんの一部分です。近年では「歎異抄」がブームとなり、アニメ化もされました。様々な解説本も出ています。「歎異抄をひらく」私も買って読んでみました。言おうとしていることは勿論分かります。でも、何度読んでもずっと自分の中に入ってこないんです。

私は1学期の校長講話で、「知る」ことと「学ぶ」ことという話をしました。その中で「学ぶ」ことはインプットとアウトプットの交互通行の中に最も肝心な「考える」が加わり、「時には発信してさらに自分のこととして獲得していくこと」という話をしました。そういった点で言うと、私はまだこの『歎異抄』をインプットすらできていません。つまり「知る」にもまだ至っていないくて、今もみなさんに上手に発信できていないと思っています。夏休み中、いわばもがいていました。ただ「もがく」も大切なんじゃないかなと最近思っています。「ああでもない」「こうでもない」「なぜ?」と考えながらいつか、何か道が開けて、自分の中で理解できたときにすっきりとして獲得できることもあるのではないかと。そしてそれがすごく貴重な財産になるんじゃないかと。

皆さんもこの85日間の2学期に、そんな学び「もがき」の出会いがあったら教えてください。

さいごに、

今日の話の最初の方で「気持ちの切り替えスイッチをONにして」と話しましたが、そうはいつでも体も心もまだ夏休みモードが抜けきらないところもあると思います。学校の空気をゆっくりたっぷり吸って、友達や先生方と語り合って、少しずつ学校生活の環境に適応していきましょう。あわてずにあせらずに。

そして、困ったことや悩みが出てきたら、遠慮なく近くの仲間や先生方に相談してください。お互いが相談し合える関係・みんなが校内の仲間であられるといいですね。

2 学期にがんばりたいこと

2 学期始業式にあたり、各学年代表の生徒が、がんばりたいことを書いてくれました。

1 年 春日 千鶴 さん

私は1学期の振り返りで、学習への取り組みが課題だと感じました。授業中に綺麗にノートをとるのは頑張りましたが、そこまで家庭学習は頑張れなかった点が多かったと思います。なので、2学期は家庭学習を頑張りたいです。そのために一日のスケジュールを決めて、それを実行しようと思います。また、授業では、ノートをとることは頑張りましたが、時々先生の話聞き逃してしまうことがあったので、2学期では先生の話をよく聞くことも頑張りたいです。

授業以外では、白樺祭に向けての準備や練習にみんなと協力して取り組みたいです。

長い2学期ですが、1学期の自分を高められるようにしたいです。

2 年 上田 流央 さん

私は、2 学期に頑張りたいことではなく、頑張らなくてはならないことが3 つあります。

まず1 つ目は、「勉強」です。自分とはとにかく勉強が苦手で、苦手なものはなかなか覚えられません。それには、授業中の集中力や記憶力を高めていきたいと思っています。そのためには、どうすれば良いのか考えてみましたが、よくわかりませんでした。なので、先生方にアドバイスをいただきたいと思っています。こんな自分ですが、2 学期もどうかよろしく願います。

2 つ目は、「白樺祭での委員会活動」です。1 年生の時は、あまり仕事がなかったのですが、今年は、アーチ製作をするので、よいアーチをつくれるように頑張ります。そして、去年はできなかった他の委員会の手助けもできるようになりたいです。3 年生からたくさん仕事などを教えてもらい、来年に生かせるように頑張ります。3 年生の皆さん、よろしく願います。

3 つ目は、「バレーボール新人戦」に向けてです。1 学期は、木祖中との合同チームで大会に出ましたが、2 学期からは、木曾町中・日義中との合同チームになります。そのため、新しいポジショニングを早く覚えて、チームのみんなとのコミュニケーションがうまく取れるように頑張っていきます。私は、右肩を負傷していて、前の大会ではリベロとして出場しました。

現在は、左でスパイクを打つ練習をしているので、次の試合では、右も左もどちらも打てるアタッカーとして、出場したいです。男子バレーボール部の皆さん、顧問の先生方、ご指導よろしくお願いします。

以上の3つを頑張って、充実した2学期にしていきます。

3年 葉瀬 樹 さん

僕は2学期に頑張りたいことが二つあります。

1つ目は勉強です。3年生の2学期から総合テストが始まります。先生の作るテストとは違い、業者が作るテストがメインとなるので難易度は上がるはずですが、基礎ができていないと問題を解くことがこれまで以上に難しいものになると思っています。そこで、自分の苦手な分野を明確にし、苦手な分野の基礎からやっつけていこうと思います。僕は一学期のころ勉強にあまり向き合えていませんでした。夏休みの間、このままではいけないと思い、勉強に対して少し前向きに捉えるようにしました。2学期ではさらにもう少し意識を変えて“勉強”というのに向き合って取り組んでいき、少しずつ勉強の時間を増やしていきたいです。

2つ目は白樺祭です。2学期には開田中学校最大のイベント、白樺祭があります。去年までは3年生が頑張っているのをただ見ているだけでした。しかし、今年は僕たちが作っていかねばなりません。全校で進めるものや委員会で進めるものがあります。代議員長として自分のやるべきことをやっていかねばなりません。1人ではできないことも当然あります。そこで、他の人と協力して足りないものを補いながら準備をしていこうと考えています。そして、白樺祭当日に頑張ってきて良かったと思えるような素晴らしい白樺祭にしたいです。

これらのことから2学期は自分のやるべきことをやれる学期にしたいです。長い2学期ですが、その分白樺祭や修学旅行など楽しみなこともあります。1日1日を頑張っていきたいです。(始業式当日は、体調不良のためお休みでした。)

パラトライアスロン 日本代表チームとの交流会を行いました。

パラトライアスロン日本代表チームが、強化合宿の一環として、開田中学校のプールを使用しているのにあたり、昨年度に引き続き、交流会を行いました。東京 2020 大会、聖火リレーで使用したトーチを触らせていただいたり、生徒から選手の皆さんへの質問があったりと、楽しい時間となりました。交流会の様子は、市民タイムスにも掲載されました。



Ⅰ 学期学校評価アンケートの結果より

Ⅰ学期末に行った、学校生活アンケートの結果から抜粋してお知らせいたします。今年度の本校の教育目標である、対話のある授業(友と)、相手意識のある発信(開け)、授業のユニバーサルデザイン化、家庭学習への支援(学び)の成果が現われてきている結果となりました。2学期も引き続き、生徒の自立に向けて支援をしていきます。

- 私は、話している人の方を向いて話を聞いている。 →あてはまる、だいたいあてはまる 90%
- 私は、自分の考えをみんなに伝えるように発信することを心がけている。 →あてはまる、だいたいあてはまる 70%
- 授業の中で自分の考えを持ち、発信することができている。 →よくあてはまる、だいたいあてはまる 76%
授業で大切にしている、聴く、話す、発信するの、評価が成果として表れてきています。

- 授業の中でよく話し合いが取り入れられている。 →よくあてはまる、だいたいあてはまる 77%
- 道徳の時間では、友達と意見交換をして、考えを深めることができた。 →よくあてはまる、だいたいあてはまる 100%
対話のある授業や、今年度から取り組んでいる全校道徳の成果です。対話をしながら、自分の考えを深めたり、他者と折り合いをつけたりする力は、自立に向けた大切な力となります。

- 質問や意見が出しやすい授業である。 →よくあてはまる、だいたいあてはまる 84.5%
- 「わかった。できた。」と満足できる授業となっている。 →よくあてはまる、だいたいあてはまる 89.5%
- 先生の話し方や伝え方はわかりやすい。 →よくあてはまる、だいたいあてはまる 91%
授業のUD化、個別最適化も、今年度、本校で大切にしている重点です。個に応じた、わかる授業に取り組んでいきます。

- 私は、学習内容のわからないことを質問したり、自分で調べたりして、理解するようにしている。
→あてはまる、だいたいあてはまる75%(昨年度比20%増)
- 私は家で、自分で計画を立てて勉強をしている。 →あてはまる、だいたいあてはまる60%(昨年度比10%増)
- 私は家で、学校の授業の予習・復習をしている。 →あてはまる、だいたいあてはまる80%(昨年度比40%増)
家庭学習で大切なことは、やらされる学びから、自ら取り組む自立した学びと考えています。授業と家庭学習のつながりを大切にしながら、支援を続けていきます。

連絡

・9月2日(金)に予定していました、郡陸上競技大会ですが、コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、中止となりました。当日は、給食ありとなります。

9月の予定

◇9月の予定

- 3日 PTA 資源回収、中信地区新人大会(水泳)
- 6日 山崎 SC 来校(PM)
- 7日 生徒会⑥、全校音楽①、発育測定②
- 14日 生徒集会
- 20日 集金引き落とし日
- 21日 3年総合テスト②
生徒会⑦、全校清掃⑥
- 28日 生徒会⑧、全校音楽②
- 30日 白樺祭前日準備

